

○指定管理施設エネルギー使用状況等報告書(令和 年度実績)

指定管理施設名		指定管理者名	
所管課名		記入者職・氏名	
担当者職・氏名		電話番号	
		延べ床面積(m ²)	

エネルギー種類	※注1				灯油	A重油	都市ガス	LPガス	※注2		※注3		水道	※注4					可燃ゴミ	不燃ゴミ	資源ゴミ	その他							
	ガソリン		軽油						電気(合計)		電気(電力会社2)			電気(電力会社2)		コピー用紙													
	敷地内 使用量(kWh)	敷地外 使用量(kWh)	敷地内 使用量(kWh)	敷地外 使用量(kWh)					電気(昼間)	電気(夜間)	電気(昼間)	電気(夜間)		電気(昼間)	電気(夜間)	合計	A3	A4					B4	B5	購入量(枚)	購入量(枚)	購入量(枚)	購入量(枚)	購入量(枚)
主な用途																													
使用量	4月								0	0						0													
	5月								0	0						0													
	6月								0	0						0													
	7月								0	0						0													
	8月								0	0						0													
	9月								0	0						0													
	10月								0	0						0													
	11月								0	0						0													
	12月								0	0						0													
	1月								0	0						0													
	2月								0	0						0													
	3月								0	0						0													
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基準年度使用量									0	0																			
基準年度比																													
備考 増の場合 ・その理由 ・改善策 を記載してください。																													

電気検針日	7月	8月	9月	12月	1月	2月	3月

※注5

※注1 ガソリン・軽油については、敷地内のみを走行する移動体(例えば構内専用フォークリフト等)や発電機など施設内で使用した量と外回りなどで敷地外を走る自動車等に使用した量を分けて記載してください。

※注2 電気使用量には、太陽光発電による発電量は含めないでください。

「昼間と夜間の電気使用量の分けについて」

業務用で多い「高圧電力」や「季時別」という契約種別では、検針票や請求書などに「力率測定用有効電力量」という欄があります。(略して「力測用有効」などと記載されている場合もあります。)これが省エネ法での昼間電力量にあたります。

夜間電力量は、全使用量から力率測定用有効電力量を引いて算出してください。

①昼間電力量＝力率測定用有効電力量、②夜間電力量＝全使用電力量－力率測定用有効電力量 → 分けられない場合は、全使用量昼間の電力量としてください。

※注3 温室効果ガス排出量の計算が、電力会社によって異なるため、複数の電力会社と契約している場合、電力会社ごとに分けて記載してください。

※注4 処分業者との契約内容の都合で発生量が計量されない場合(他施設・部署のゴミとまとめて精算など)、概算の数値を入力し、備考欄にその考え方を入力してください。(例: 1袋〇kgと計算)

※注5 省エネ法の改正により、夏期(7～9月)と冬期(12～4月)の省エネと節電の取組が更に重要となりました。その際、エネルギー使用量の算定に、検針日を用いる場合がありますので、必ず記載してください。